

編集後記

3.11の大震災が起こってから半年が過ぎた。戦後最大、まさに未曾有の災難に遭った我が国だが、地震と津波は天災としても、原子力発電所の事故は、少なくとも一部は人災である。被災された方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

今回は改めて自然の力の大きさを思い知らされた。「自然に優しい」という謳い文句が一時期流行ったが、「自然に」ではなく、「自然は」優しいのである。今回の地震は、それを忘れた人類に対し自然が謙虚であれと警告を与えた事件であるようにも思える。

しかしまた今回は、人間の連帯を再認識させられる機会でもあった。それぞれの人がそれぞれの立場で、できる限りのことをした。本学でも「東北ボランティア駅伝」の名のもと、遠野市を拠点に多くの教員と学生が被災地の方々に送られた支援物資の仕分けなどのお手伝いをし、現在も継続中である。

世界各国の方々が様々な支援をしてくださったのも忘れることができない。考えている以上に日本は世界の人々に愛されているなどと思った。夏休みの海外研修でも、研修先の大学の関係者、毎年お世話になっている民宿のおばさん、編集子の長年の友人など数多くの方々が、今年は来られないのではないかと心配したと言って再会を喜び、学生たちにもねぎらいの言葉をかけ、もてなしてくれた。今回ほど世界は一つと実感したことはない。これも先人たちが他の国に対して、その時々で、できる限りの支援をしてきたお蔭であろう。

このような中でも、普段と変わらず営々と研究を続けることは大学の使命である。今回も論

文7本、研究ノート2本と、数多くの先生方が玉稿をお寄せくださった。心よりお礼申し上げます。

人文、社会、体育と様々な分野の先生方が寄稿して下さるのはこの論集の強みである。それぞれの論文が異なった分野の研究者の目に触れ、何か新しいものを生み出すきっかけになることを祈りつつ、編集後記の代わりとさせていただきます。

(編集委員 ◎小澤幸夫・真鍋明裕)

◎文責

〈執筆紹介 (掲載順)〉

- | | |
|--------|-----------------------|
| 田中 則仁 | 経営学部教授 |
| 高城 玲 | 経営学部准教授 |
| 田 育 誠 | 経営学部非常勤講師
吉林師範大学教授 |
| 千葉 義 信 | 経営学部非常勤講師 |
| 小澤 幸 夫 | 経営学部教授 |
| 岡崎万紀子 | 経営学部准教授 |
| 大橋 哲 | 経営学部准教授 |
| 荒井 義 則 | 経営学部非常勤講師 |

『国際経営論集』 第42号

禁無断転載

2011年10月31日 印刷

2011年10月31日 発行

発 行 神奈川大学経営学部

編 集 『国際経営論集』編集委員会

〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946

電 話 (0463) 59-4111

F A X (0463) 58-9688

制 作 株式会社 興版印刷

〒254-0076 神奈川県平塚市新町7-15

電 話 (0463) 32-1899

F A X (0463) 32-1865